



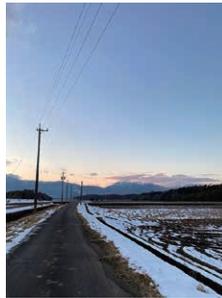
捨てられていたワンコ(推定5歳)と出会い、家族になって17年。22歳まで生きてくれました(パトラさん)



堤防から鈴鹿山脈をバックに撮影しました♡(癒しのワンちゃんさん)



日没前に職場から。心洗われるような夕焼け雲に見とれました(坂田浩一さん)



実家近くのまぐり殖粟神社を参拝した帰り道。学生の頃歩いた道が変わらない姿で残っていて懐かしくなりました(ゆっぺいさん)



凜とした空気、小鳥のさえずり、波の音、緑の息吹。ここにいるからこそ、すばらしさを感じることができるのですね(ハルさん)

お薦め情報やこにゅうどうくんのイラスト、写真(テーマは自由)をお寄せください。

【応募方法】①名前(ペンネーム可) ②連絡先 ③お薦め情報(200字程度)または作品へのコメント(50字以内) ④写真・画像データ(2MBまで)を、Eメールで、投稿ひろば専用アドレス(✉hiroba@city.yokkaichi.mie.jp)へ



※添削・修正・加工する場合があります

☎ 広報マーケティング課 (TEL) 354-8244 (FAX) 354-3974 (HP) (ID) 1580454974466)



ええやん!

四日市市長コラム

Vol.12

コロナに打ち勝つ元気回復予算

令和4年度の予算額は約1,309億円となり、過去最大の予算規模となっています。新型コロナウイルス感染症対策経費はもちろん、市民生活を元気づけ、地域経済の活性化を図るための施策・事業を含めた予算編成を行いました。

コロナ禍で全国的に経済状況が厳しくなっている中でも、本市は主に製造業で業績が堅調な企業が多く、健全な財政を保つことができます。一方で、飲食店などは非常に厳しい状況が続いています。そのため、本市独自の経済対策として全国有数の規模となる発行総額70億円の四日市市プレミアム付デジタル商品券「よんデジ券」を発行し、キャッシュ

レス化と併せて、コロナ禍で停滞する地域経済を盛り上げていきます。

また、近鉄四日市駅周辺等整備(バスタプロジェクト含む)、給食センター整備、四日市公害と環境未来館の一部改修やコンビナートなどのカーボンニュートラルの推進、保育士などの人材確保や認知症の早期診断など、明るい未来に向けた取り組みにも力を入れます。

コロナ終息の見通しがたない状況ではありますが、総合計画に掲げた四つの将来都市像「子育て・教育安心都市」「産業・交流拠点都市」「環境・防災先進都市」「健康・生活充実都市」の実現に向けて、着実に歩みを進めていきます。